

名勝哲学堂公園整備検討委員会
令和6年度第2回 議事概要

学識者委員の出席状況	亀山委員、内田委員、栗野委員、北田委員
議事の概要	<p>【公園基本設計について】</p> <ul style="list-style-type: none">・七十七場解説板については、文章の中身や詳細な図面も検討すべき。・ベンチの配置は、利用実態等も踏まえて丁寧に検証する必要がある。・地形や地割を保存する観点が欲しい。・「相對溪」脇のトウネズミモチは、伐根ではなく伐採とし、法肩側に低木を列植すると良い。・「天狗松」は、当時の場所への移植ではなく、現況のアカマツを天狗松と見立て、解説を施すことで良い。・斜面地の転落防止柵は、高さ 1.1m では圧迫感があり過ぎるので、景観にも配慮すること。・七十七場解説板のサイズや数量を見直し、QRコードとの併用を検討した方が良い。 <p>【古建築物等の活用方針について】</p> <ul style="list-style-type: none">・現状整理において、各建物の意味や用途と、現在の使われ方を「本来用途」としてまとめて記述している点に分かりづらい。・建物の改変をある程度許容し、設備を充実して利活用を図るのか、保存を優先し可能な範囲での活用を図るのかの議論が必要。・修復時に出る部材の保管や展示としての再利用方法等についても検討が必要。 <p>【管理棟再整備基本計画について】</p> <ul style="list-style-type: none">・運動施設利用者と公開・普及・活用室の利用者は、用途や目的がかなり異なるので、動線を分けるべき。・公開・普及・活用室というガイダンスの場が、哲学堂七十七場に入っていくにあたりどのような効果を持つのかの整理が必要。・公開・普及・活用室と古建築物について、役割分担の整理が必要。 <p>【常識門修復実施設計について】</p> <ul style="list-style-type: none">・建具はかなり傷んでいるので、手間とコストを掛けて再利用するよりは、既存のものをもとに新設した方が良い。・木材保護のためのガラス塗料は、可逆性が失われること、実績が不十分であることから使用せず、一般的な木材保護塗料を使用する方が良い。 <p>【石積予備診断結果等】</p> <ul style="list-style-type: none">・骨材に自然の玉石が入っているか、砕石やコンクリート片が入っているのかの違いが分かれば、おおよその年代について判断が可能。